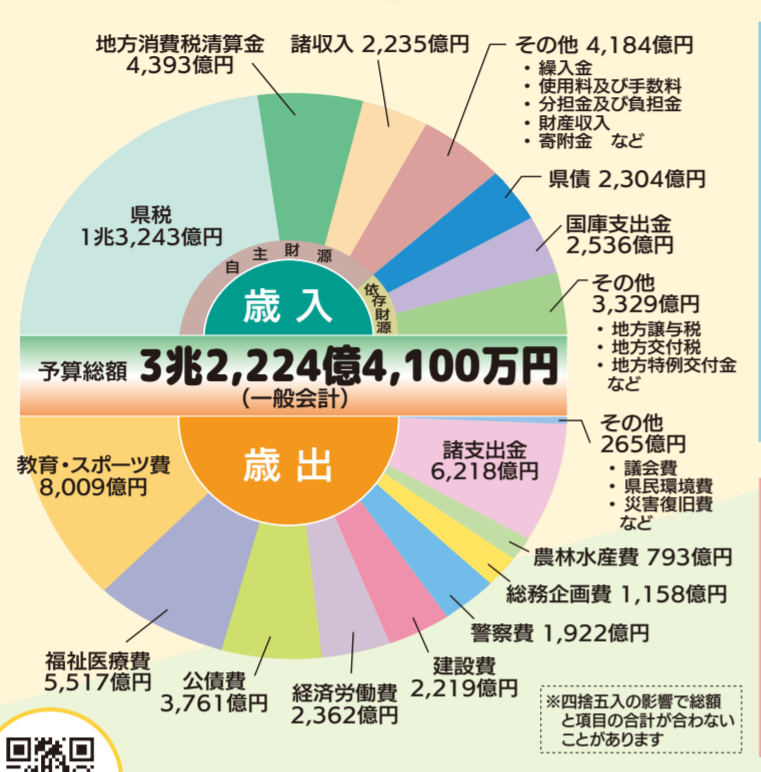


愛知県議会

2026年度県予算 3兆2,224億円で過去最大!

一般会計の総額は前年度比9.6%増の3兆2,224億円で、過去最大の規模。アジア・アジアパラ競技大会の開催に要する経費のほか、人件費・公債費といった義務的経費が大きく増加していることから、単年度の歳入だけで歳出を賄うことができず、多額の基金取り崩しに依存する厳しい財政状況。大村知事は、愛知の成長・発展の推進力となる「ジブリパーク」や「STATION Ai」、さらには「IGアリーナ」を軸としながら、「アジア・アジアパラ競技大会」をさらに大きく前進させ、愛知を勢い盛んに成長・発展させていく。特にアジア・アジアパラ競技大会の成功に向けた思いを込めて「ONE ASIA ONE HEART ONE AICHI」を実現させる予算編成とする!と意気込む。



歳入 県税収入は、前年度から103億円増の1兆3,243億円。法人二税については、県内の主要産業である自動車関連産業において米国関税措置の影響による大幅な減益が見込まれるものの、全体としては増収。個人県民税については、賃上げの影響による増収を見込んでいる。軽油引取税の暫定税率廃止、自動車税環境性能割廃止といった税制改正による減収分については、地方特例交付金により全額国費で補填される。

歳出 人件費は、34年ぶりとなる3%を超える2025年度給与改定の影響や、定年年齢引き上げの影響による退職手当の増加により大きく増加。また、アジア・アジアパラ競技大会の開催に必要な経費1,455億円を計上した。



ONE ASIA ONE HEART ONE AICHI

建設 埼玉県八潮市の再発防止、道路陥没事故を防ぐために

社会的影響が大きい道路陥没事故が発生するリスクを防ぐため、県管理道路全約4,600Kmを対象に、国と同様に5年に1回の程度で、空洞探査車に搭載された「地中レーダー」で取得した異常信号を解析し、路面化1.5m範囲の道路陥没事故の防止に努める。空洞が発生しやすいとされる都市部や、発生時に影響が大きいことが想定される箇所を優先的に実施し、安全安心な道路環境を守る。

県民環境 魅力ある県立大学と県立高専を目指す!

魅力ある県立大学にするためスタートアップ支援を目的に、インキュベーション施設・居住滞在型レジデンス施設の整備、そして既存施設の長寿命化改修と愛知県立総合工科高校敷地内(名古屋千種区)に2029年4月に県立高等専門学校の開校を目指す。1学年1学級40人(5年で200名)規模。今年度は県立高専整備費として1億8,946万4千円(基本設計・実施設計)を計上。

警察 「アジア・アジアパラ競技大会」警備体制を強化

国内外要人の安全確保のため、各種テロ対策訓練等の実施、テロの未然防止に向けた関連情報の収集・分析、関係機関との連携した水際対策を強化するとともに、要人警護や警戒警備に必要となる装備品や各種資機材などを整備する。また4月から自転車交通違反に対する交通反則通告制度が適用されることから、啓発チラシや動画などを活用し、ルールの周知と安全利用の促進を図る。

経済労働 成長分野育成等による地域経済の持続的発展

水素モビリティの導入促進等、産業基盤の高度化と脱炭素化を軸に成長分野の育成や事業環境整備を推進するとともに、デジタル人材の育成推進等を通じた働き方改革による生産性向上を図る。アジア・アジアパラ競技大会を契機とした観光誘客や観光需要の平準化を進めると共に、次世代産業用地造成事業を推進。成長基盤を強化し、地域経済の持続的発展を目指す。

福祉医療 動物愛護センター譲渡推進施設基本計画等

〇動物愛護センター譲渡推進施設基本計画策定に関して
北海道、三重県、香川県、鳥取県、鹿児島県には譲渡に特化した施設があり、先例を参考にしながら、特に動物の保護に関しては民間企業とのパイプを作るよう要望。
〇不妊治療費助成に関して
助成は産婦人科だけではなく、男性の泌尿器科も対象となり、治療終了時点で市町村に申請すれば、自己負担金額の補助を受けられる。

農林水産 農業イノベーションと漁業強化

気候変動に対応した本県産いちご品種「愛きらり」の品種改良・栽培技術開発や、スタートアップと連携した農業イノベーションの推進。また、三河湾のアサリ漁場整備や栽培漁業センターの機能強化など、水産資源の増大。さらに、県産農林水産物のブランド力向上や需要拡大に向け、国内外へのPRに取組んで行く。

教育スポーツ 学びの多様化と、アジア・アジアパラ大会の成功へ

変化する社会を見据えた教育環境の整備やいじめ、不登校、外国にルーツを持つ児童生徒の学びを支える体制整備に加え、公立学校給食費負担軽減補助金など大きな変化を控えている。また、いよいよ「アジア・アジアパラ競技大会」の開催年を迎え、大会推進事業費1,129億2,488万5千円を含む巨額予算など、適切な予算編成・執行となるよう審議を進める。

総務企画 基幹的防災拠点の整備を推進

大規模災害時に全国からの応援人員や物資などを円滑に受け入れ、被災地域の防災拠点に迅速かつ確に供給する目的で、県営名古屋空港隣接地に、愛知県が整備を進める「愛知県基幹的防災拠点」だ。昨年度はじまった敷地造成工事や埋蔵文化財調査、消防学校の整備と共に、今年度は防災公園の設計・建設などの予算が含まれる。

第20回アジア競技大会 Aichi-Nagoya 2026 2026 9/19~10/4

第5回アジアパラ競技大会 2026 10/18~10/24

～いよいよ開幕!～

アジア45の国と地域が参加するアジア最大のスポーツの祭典、アジア競技大会およびアジアパラ競技大会がいよいよ9月から10月に愛知県で開催される!
一宮市はアジア競技大会の「バドミントン」、アジアパラ競技大会の「パラバドミントン」の会場に選定され、一宮市光明寺の「一宮市総合体育館」で熱戦が繰り広げられる。

一宮市会場「バドミントン」を盛り上げよう!



詳しくは [検索 アジア競技大会2026](#)
チケット価格や、購入方法等について詳しくは大会公式チケットインフォメーションをご確認ください。

●バドミントン競技スケジュール

- 〇アジア競技大会 9月20日~29日 (金メダル確定 9月24日、9月29日)
- 〇アジアパラ競技大会 10月16日、17日、19日、20日、21日、22日 (金メダル確定 10月23日)

アジア・パラ競技大会を盛り上げたい!

元日本人学校長が本場マレーシアの朝食で盛り上げる!
マレーシアの国技「バドミントン」が一宮会場なのも何かの縁?!



マレーシアの国民的朝食「ナシレマ」(¥1,200) 日本のオーガニック米をココナツミルクに現地ハーブ「パンダナス」を加えて炊き込み、干しエビを発酵させたピリ辛「サンバルソース」をトッピング、付け合わせのイカン(魚)にピーナツの素揚げを混ぜて食べる。プラス¥600で練乳入り紅茶「テラレ」とマレーシアの「だんご」が付く。

マレーシアの国民的スポーツ「バドミントン」競技が一宮市で開催されるのを縁と感じ、アジア・アジアパラへの関心とマレーシアの食文化を知ってもらうことで大会を盛り上げたい!と「モーニングの街・一宮」にちなみ、本場マレーシアの朝食「ナシレマ」をランチタイムで提供。オーナーの宮谷真一郎さんは、一宮市内公立中学校教頭を務め、元マレーシアの日本人学校長を3年務めた経歴を持つ。帰国後、一宮市内の小学校長を務めたのちに退職し、

古民家のカフェレストランを夫婦で開業。屋号の「ムティアラ」は、マレーシア語で「真珠」という意味。今回、アジア大会で一宮市がバドミントン競技の会場に決定したことで、バドミントンが国技のマレーシアの食文化を広く知ってもらいたい!とメニューを期間限定で紹介する。朝食「ナシレマ」は、日本で言えばごはん・味噌汁のような国民的朝食で、奥様の恵子さんの愛情たっぷりメニュー。提供期間は6月1日(月)~10月31日(土)までで、食材の準備があるため3日前までに予約が必要。

一宮市萩原町築込砂454 TEL070-2213-8123 営業時間/10:00~17:00 定休日/木曜・金曜日

オーナーの宮谷真一郎・恵子ご夫妻



「ふれあいの里 HASUパーク」が、4月3日にグランドオープン!

愛西市の道の駅が4月3日、新たに都市公園エリアを整備しグランドオープンした。約5.3ヘクタールの敷地面積の中には昨年4月に先行オープンした産直広場の他に大型複合遊具を設置した「わんぱく広場」、誰もが共に遊ぶことのできる「ちびっこ広場」や「芝生広場」に「ドッグラン」も。そして初夏に見ごろとなる花はす田を眺望できる「はす見の丘」などを整備。グランドオープンの目玉の一つは、愛西市の野菜が堪能できるカフェレストラン「aicon(アイコン)」や3店舗が出店した「フード広場」で、両施設とも明るい開放的な雰囲気。カフェレストランのある建物(はす見テラス)には、はす田が眺められる「はす見の階段」もある。今後、公園内のはす田で「レンコン堀り体験」もできる予定。



愛西市森川町井桁西27 TEL(0567)97-3918 営業時間/9:00~17:00 (レストランは平日11:00~、土日祝日10:00~) 定休日/木曜日 年末年始(12/31~1/4)

「愛知サマライガーデン」14か所が、国交省のガーデンツーリズムに登録!

国土交通省では、日本にある「隠れた庭園・花の名園」を地域の活性化と庭園文化の普及につなげる「ガーデンツーリズム」を展開中。愛知の歴史観光を全国に広くPRしている本県でも武将・街道等にゆかりがある庭園を「サマライガーデン」と位置づけ、国土交通省が設置するガーデンツーリズムに登録!

「サマライガーデン」は県内の武将や街道にゆかりのある庭園14か所、その中には一宮市起の「旧林氏庭園」(国登録記念物)も。同庭園は江戸時代に美濃路の宿場町「起宿」として栄えた脇本陣の庭で、四季を通じて美しい装いで来訪者の目を楽しませてくれる。

愛知サマライガーデンの構成14庭園

- ◆名古屋/徳川園、中村公園、名古屋城二の丸庭園、白鳥庭園
- ◆豊橋市/二川宮本陣資料館
- ◆岡崎市/奥殿屋遺業の庭
- ◆一宮市/旧林氏庭園
- ◆春日井市/内々神社、太清寺
- ◆安城市/丈山苑
- ◆西尾市/華厳寺、市歴史公園
- ◆犬山市/日本庭園有楽苑
- ◆清須市/清須城

庭園全体に苔が生え揃い、飛び石や枯池や赤石などが配され美しい。

入館無料

一宮市起下町211 尾西歴史民俗資料館別館 TEL(0586)62-9711 開館時間/9:00~17:00 (入館は16:30) 休館日/月曜日、祝祭日の翌日

令和8年2月定例議会で一般質問しました

質問項目

1. 「終活リアル」な課題への取組について
 - (1) 身寄りのない「おひとり」高齢者の終活支援
 - (2) 「デジタル遺品」のトラブル相談の現状と、デジタル終活のススメ
2. 東京一極集中の流れを緩和させる、「新たな人の関わり方」について

「デジタル遺品」のトラブル相談の現状と、デジタル終活のススメ

質問 故人がスマホやネット上に残したデータは「デジタル遺品」と呼ばれ、パスワードやIDがなければ開けられない。残された家族には大きな負担となる。そこで、デジタル遺品をめぐる現状と、デジタル遺品に関するトラブル防止に向けて「デジタル終活」をどのように進めていくのかうかがう?

答弁 遺族が故人のIDやパスワードを把握していないために、契約内容の確認や解約手続きが困難となる「デジタル遺品」に関する消費生活相談は増加することが見込まれる。そこで、消費生活相談員のキャリアアップにも努め、的確な相談体制を一層強化していく。さらに「デジタル終活」についても県広報でPRするなど、県民に積極的に働きかけていく。

東京一極集中の流れを緩和させる、「新たな人の関わり方」について

質問 仕事や趣味で居住地以外の地域に継続的に行き来する「関係人口」という考え方が広がっている。関係人口は住民票を移さないの、「関係人口」の実態を数値化することは難しい中で、「関係人口」を可視化して自治体が「ふるさと住民」として登録する制度を令和8年度に創設するが、「ふるさと住民登録制度」について本県では今後どのように取組んでいくのか?

答弁 昨年12月に策定された国の「地方創生に関する総合戦略」では、「都市と地方の共生の実現」を掲げ、ふるさと住民登録制度の創設などに取り組みすることで、関係人口の量的拡大・質的向上を図ることとしている。これを踏まえ、来年度、市町村をはじめ、有識者、産業界、労働界などから幅広く意見を聞きながら、本県の新たな総合戦略を策定し、関係人口の創出・拡大の取組についても更なる充実を図っていく。

愛知県パーキング・パーミット制度利用証申請 4月1日から受付開始!

愛知県では、障がいのある方などの専用駐車区画を利用できる利用証を交付することにより、対象者の明確化と適正利用を図る「パーキング・パーミット制度」を2026年6月1日からスタートするにあたり、この4月1日から制度の対象となる方の利用証の申請受付を開始。対象となる方は、障がい者、要介護者、難病患者、妊産婦、けが人などの歩行が困難と認められる者。詳細はWebで確認を。
<問い合わせ>
愛知県パーキング・パーミット制度事務局 TEL(052)990-6845